

ふるさと探訪

第16回

お簾踊り

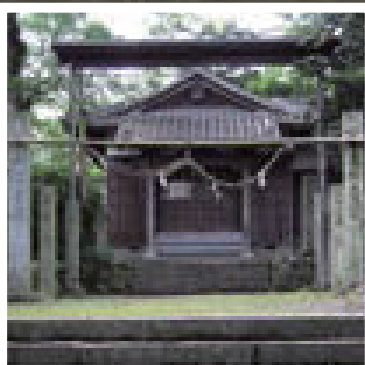


丹原町田滝地区の黒滝神社

に奉納される「お簾踊り」は、400年以上の伝統を持ち、愛媛県の無形民俗文化財に指定されています。

昔は、秋の大祭に遥拝所や^{とうもと}俣元で踊り、雨乞いの際には

本社拝殿で雨が降るまで、連日連夜、数人宛の男性が踊り続けたと言われています。
「お簾踊り」のいわれは、ある年の雨乞いの時に、本殿の御簾が動いたかと思うと、にわかに大雨が降りだしたので、それ以降この踊りを「お簾踊り」と呼ぶようになったそうです。



▲お簾踊り
▶黒滝神社遥拝所

毎年8月15日には、地元の田滝小学校校庭で盆踊りとして伝承されており、きれいな扇子を巧みに

回しながら踊る姿は非常に優雅で、見物人を魅了して止みません。また、踊りの休憩時に行われる「早口口上^{はやくちこうじょう}」も非常に珍しく、一聞の価値のあるものです。

黒滝神社は社叢^{しゃそう}も有名で、本殿脇の桧や赤松、ツクバネガシなど多数の古木巨樹が繁茂しており、市の天然記念物に指定されています。

■住所 丹原町田滝
■駐車場 なし

